

## 令和8年天皇誕生日祝賀レセプションの開催

2026年2月19日、在マラウイ日本国大使館は天皇誕生日祝賀レセプションを開催しました。レセプションには、来賓としてローザ・ファッチ・ムビリジ農業・灌漑・水開発大臣をはじめ、国会議員、リロングウェ市長、外交団、官民の代表者など、約230人が出席しました。

レセプションは、JICA海外協力隊（JOCV）、国連日本人職員、大使館職員で構成されるサンガララ合唱団（注）による日本国歌とチェワ語によるマラウイ国歌の斉唱で始まりました。

内藤大使より、リロングウェ橋に象徴される「友好の架け橋」とも言える日本の協力が、マラウイの経済開発に効果的に資するよう協力を進め、貿易投資面で鉱物資源や社会課題解決型の取り組みを含め、さらに多くの日本企業の皆様にビジネスチャンスをご紹介しつつ、二国間関係の一層の強化を目指し、世界で派遣人数が最も多いJICA海外協力隊員等を通じて築かれた人的絆が一層深まるよう取り組んでゆく旨述べました。これに対し、ムビリジ大臣は、日本とマラウイの長年にわたる協力と友情に対して謝意を表するとともに、天皇陛下のご健康とご多幸、日本国政府と国民の繁栄・幸福、そしてマラウイと日本の協力関係のさらなる発展を祈念して乾杯を行いました。

その後、内藤大使とムビリジ大臣による鏡開きが行われ、来場者は、大使館に提供した日本酒及び日本食とともに歓談を楽しみました。また、会場では日本企業やNGO等の団体が展示ブースを設置し、日本の優れた技術や社会課題解決のための取組等を紹介しました。

大使スピーチ全文：<https://www.mw.emb-japan.go.jp/files/100982139.pdf>

（注：サンガララはチェワ語で「幸せ」の意味。）



内藤大使によるスピーチ



内藤大使とムビリジ大臣（主賓）による鏡開き



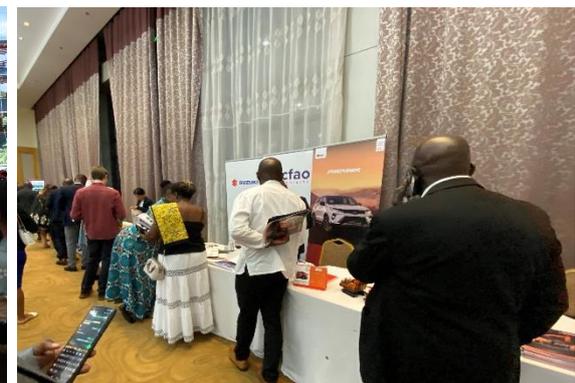
大藤公郎料理人による日本食ブース



日本酒・梅酒試飲ブース



サンガララ合唱団



企業ブース



当地訪問中の歌手あきいちこ氏による  
楽曲 ONEESS の披露



開発協力広報動画



会場の様子